

**県本部  
第2回単組代表者会議**  
日時：11月21日(火)  
13:30~15:00  
場所：ホテル福島グリーンパレス

# 自治労福島

自治労福島県本部機関紙  
E-mail:jichou@jichiro-fukushima.or.jp

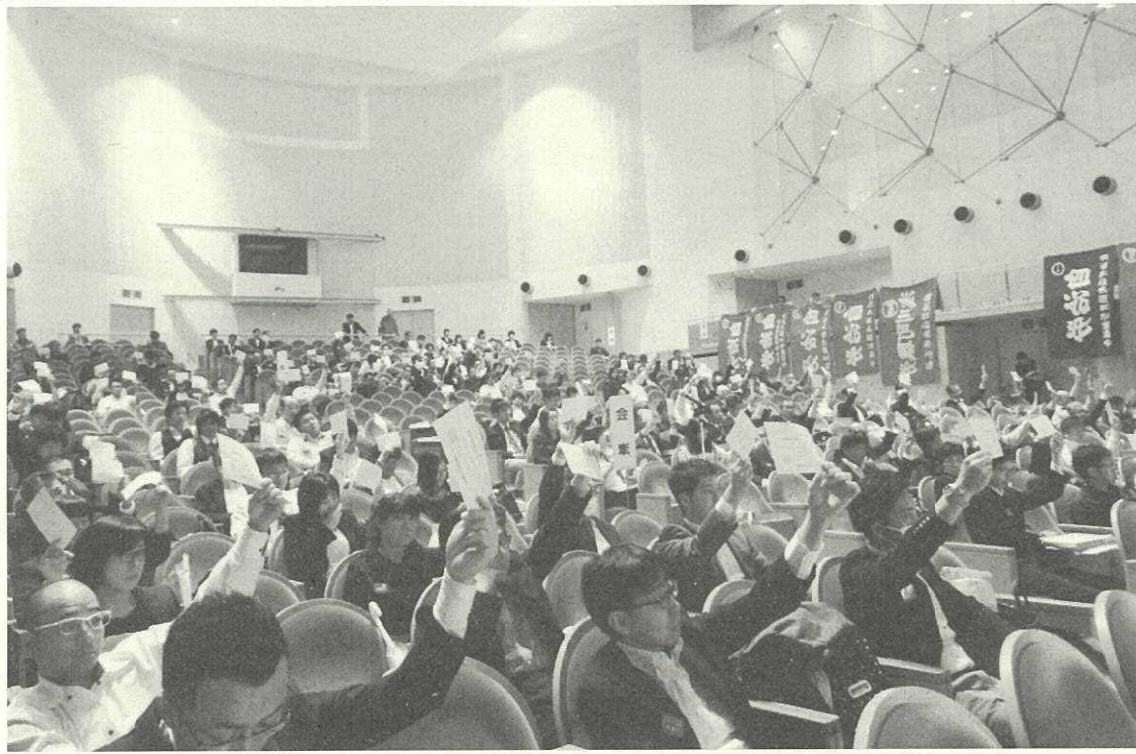
第789号  
2017年(平成29年)  
11月2日  
福島市荒町1-21  
自治労福島県本部  
発行人 今野 泰



## 定期大会

# 組織の総力で前進を

県本部は、10月13日~14日の日程で、「棚倉町文化センター(倉美館)」において、第101回定期大会を開催し、「18年度運動方針(案)」など8件の議案が絶対多数で可決決定された。



大会には代議員、傍聴、執行部等、約300名が結集し、2日間に渡り議論と交流を深めた。

定期大会の冒頭、議長(伊達市職労) 浜田清二(伊達市職労)、浜田清二(伊達市職労)、浜田清二(伊達市職労) 羽賀理恵代議員(県職連)の3名を選出し、二日間巨る議事を進行した。はじめに今野泰県本部中央執行委員長が挨拶。続いて来賓の今泉裕連合福島会長、湯座一平棚倉町長(代理で副町長が出席)、紺野長人社会民主 党福島県連合代表、角田 政志福島県平和フォーラム代表、小野利市東北労 福島の3名を選出し、二

の挨拶を受けた。その後、17年度一般経過報告など、4件の報告事項と、3件の承認事項が、満場の拍手で承認された。

続いて、自治労表彰者を代表して福島県職連合の吉田治久氏へ、また、県本部機関紙コンクールにおいて最優秀賞となった、いわき市職連合へ、それぞれ表彰状を授与した。その後、議事に入り、18年度運動方針(案)など4件の議案を提出し質疑討論に移った。

一日目の最後には、委員長及び副委員長についての役員選挙が行われた。二日目には、次期参議院選挙に自治労組織内議員として立候補予定の「岸真紀子」氏、及び丹治則雄労働金庫連合会副理事長から挨拶を受けた。

その後、各補助機関からの報告を受け、議事に対する質疑討論を行い、今野委員長による総括見解の後、採決に移り、絶対多数で全議案が可決決定された。

最後に、新たに選出された志賀一幸県本部中央執行委員長による団結ガクンパロー三唱で二日間の大会を終えた。

## 各単組発言概要

→新妻代議員 (いわき市職連合)  
いわき市職連合では、今次首長選挙にあたり、よりよい労使関係の構築による、組織強化と質の高い公共サービスの実現をめざして、元職の「渡辺たかお」氏を推薦決定し、取り組んでいきます。結果として敗れはしたが、政策で判断する積極策を選択し、単組をあげて最大限取り組みたいことを追及した結果、「今年度からの昇給等への反映は断念する」との回答を引き出すことができました。



→平口代議員 (須賀川市職労)  
「人事評価制度」について、昨年8月に当局から「評価結果を昇給及び

勤勉手当に反映させた」との提案を受け、職場委員会、組合員アンケートを実施し、組合員の意見を集約した。その結果、1次・2次評価者から高評価を受けた職員が、最終評価者の段階で標準の評価に変更されるなど、評価プロセスに不透明な点が多いなどの声があがった。また、「評価者による面談」の無い職場が散見されるなどの状況が表面化した。

これら的人事評価の運用実態を個別具体的に示し、当局が当初想定していた運用が出来ていないことを追及した結果、「今年度からの昇給等への反映は断念する」との回答を引き出すことができました。

→丹野代議員 (福島市職労)  
首長選闘争の重要性と必要性、そのための組合員の参画意識の醸成が必

要と考える。県内単組においては、日常の基本的な活動や取り組みも難しくなっている現状があり、また、敗戦の場合の弾圧の問題もある。福島市職労は4年前の市長選で敗れ、組合敵視の首長のもと弾圧が続いている。しかし、今次市長選挙に臨む市職労への期待は高まっており、団結が揺らぐことはない。

次に、現業・公企統一闘争についてである。県内単組の状況を見れば、現業組合員の減少により、県本部全体で課題を共有して取り組むには程遠い現状にある。以前の反合理化闘争的な考えのもとに、公共サービスの市場化の問題も加えながら全ての組合員・職場に置き換えた闘争体制の確立が必要と考える。

最後に、今野中央執行委員長が今大会をもって退任となり、連合福島会長に就任する予定。この間のご支援・ご理解に対し出身単組として改めて感謝申し上げ、引き続きのご支援を願いたい。

→山岸代議員 (いわき市職連合)  
いわき市においても、現業職場を中心とした職場合理化攻撃が続いており、現業職員の退職補充が全くなく、その領域も大きく狭められている。現場でのモチベーションも下がり、現場力を失いかねない事態となっている。単なる委託では対応不可能な業務が現場にはたくさんある。そういった業務は、職場の多忙化

## 当面の日程

- 11月7日(火) 県本部・県支部第2回共済推進委員会(合同)  
(福島市・福島グリーンパレス)  
県支部単組共済担当役員会議 (同所)
- 11月9日(木) 2017秋季確定闘争勝利11.9二者共闘総決起集会  
(福島市・県職員会館)
- 11月11日(土) 自治研第二専門部会第3回部会  
同 第一専門部会第2回部会  
(県本部自治研室)
- 11月12日(日) 福島市長選挙告示日
- 11月19日(日) 福島市長選挙投票日、二本松市長選挙告示日
- 11月21日(火) 県本部第1回中央執行委員会  
(福島市・福島グリーンパレス)  
県本部第2回単組代表者会議 (同所)
- 11月26日(日) 二本松市長選挙投票日

## 県本部機関紙コンクール審査結果

- 最優秀賞 「自治労いわき」 (いわき市職連合)
- 優秀賞 「蕾」 (浅川町職労)
- 同 「自治労しんち」 (新地町職労)
- 佳作 「ちから」 (須賀川市職労青年部)
- 同 「現業評」 (いわき市職連合現業評)
- 同 「雑草」 (相馬市職労)
- 努力賞 「道標」 (福島市職労)
- 同 「SEINEN」 (伊達市職労青年部)
- 同 「あゆみ」 (須賀川市職労女性部)
- 同 「福島全職職」 (県職連合)

や市民ニーズに対応することを考えれば、なくなくと考える。この考え方について、当局も理解を示しているところもあり、より一層当局に求めていきたい。

次に、最大の課題である組織強化について。臨時・非常勤職員へのアンケートを実施し、集約結果を踏まえて、組織化に向けて、中央本部・県本部の指導により、取り組んでいきたい。組織率の低下は、県本部・そして自治労そのものの存在を維持するために、必ず解決しなければいけない課題であり最大限取り組み

→山岸代議員 (いわき市職連合)  
いわき市においても、現業職場を中心とした職場合理化攻撃が続いており、現業職員の退職補充が全くなく、その領域も大きく狭められている。現場でのモチベーションも下がり、現場力を失いかねない事態となっている。単なる委託では対応不可能な業務が現場にはたくさんある。そういった業務は、職場の多忙化

や市民ニーズに対応することを考えれば、なくなくと考える。この考え方について、当局も理解を示しているところもあり、より一層当局に求めていきたい。



→朝倉代議員 (二本松市職労)

11月26日投票の二本松市長選挙にあたり、現職の「新野洋」後援会より推薦要請があり、当選後、新野洋市長に就任後、新野洋市長の信任投票が行われる。福島市職労出身の「朝倉秀紀」前東北総支部長が、新たな副中央執行委員長に立候補する。満場一致でご承認願いたい。

次に、今野中央執行委員長長の連合福島会長就任に伴い、新たな中央執行委員長と副中央執行委員長の信任投票が行われる。福島市職労出身の「朝倉秀紀」前東北総支部長が、新たな副中央執行委員長に立候補する。満場一致でご承認願いたい。



→佐藤代議員 (市町村共済職労)

共済制度の大きな柱でもある年金・医療に関連した課題と取り組みについて発言する。現在、国は高齢化に伴う社会保障費の増加と赤字財政を背景に、持続可能な社会保障制度の構築と安定財源確保を目的と

し、様々な社会保障制度改革の検討を行っている。この改革で検討されていることのほとんどは組合員に負担増を求める内容になっている。そして、社会保障制度改革による目まぐるしい変化の中、保険者統合の議論がされるなど、共済組合の存在意義があらためて問われており、私たちにどうも予断を許さない状況が続いている。

私たちが、我が国の社会保障制度を円滑に運用していくため、現在の医療保険制度の枠組みを堅持し、共済制度が持つ保険者機能をさらに向上させ、短期給付事業と、それを支える保健事業を堅持することが重要であると考えている。今後も引き続きご支援とご協力を願いたい。

私たちが、我が国の社会保障制度を円滑に運用していくため、現在の医療保険制度の枠組みを堅持し、共済制度が持つ保険者機能をさらに向上させ、短期給付事業と、それを支える保健事業を堅持することが重要であると考えている。今後も引き続きご支援とご協力を願いたい。



→澤村代議員 (県職連合)

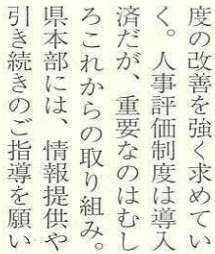
県人事委員会は、10月3日に勧告を行った。不満はあるものの、引上げ勧告であることから、県当局に早期完全実施を求めていく。例年、総務省からは、国家公務員の給与法改正より前に、条例改正を行わないよう指導がされていることから、県本部には、政府に対して早急に給与法改正法案を成立させることを求めていくように自治労本部に意見反映願いたい。県職連合は、11月9日と16日には総務部長交渉を行

う予定。組織の総力をあげたかたが昨年実施された。今まで何らかの動きのない中で、急に今年7月に「今年度末でほとんどの業務を委託する」と改めて提案があった。この提案を受けての交渉で当局は「管理運営事項であり交渉の対象でない」との一点張り、私たちの怒りは極限に達している。任用替えや全員組合員である任期付職員への雇止めなどの問題をどこまで押し返せるか、今後の一致団結した行動にかかっている。ご支援を願いたい。

から一部業務廃止というかたちで昨年実施された。今まで何らかの動きのない中で、急に今年7月に「今年度末でほとんどの業務を委託する」と改めて提案があった。この提案を受けての交渉で当局は「管理運営事項であり交渉の対象でない」との一点張り、私たちの怒りは極限に達している。任用替えや全員組合員である任期付職員への雇止めなどの問題をどこまで押し返せるか、今後の一致団結した行動にかかっている。ご支援を願いたい。

最後に、今野委員長長の連合福島会長就任に伴い、県職連合の志賀一幸氏が新委員長として立候補している。圧倒的多数のご信任を願いたい。

最後に、今野委員長長の連合福島会長就任に伴い、県職連合の志賀一幸氏が新委員長として立候補している。圧倒的多数のご信任を願いたい。



→宮内代議員 (会津若松市職労)

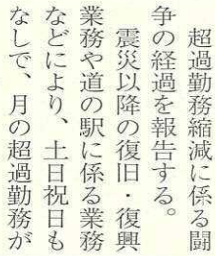
斎場の民間委託問題について報告する。当局の委託提案は、6年前から始まり、当初の全面委託

超過勤務時間が多い課に対する人員増と予算反映の確約を取り付け、妥結に至った。この間の総支部、県本部のご支援に感謝したい。

超過勤務時間が多い課に対する人員増と予算反映の確約を取り付け、妥結に至った。この間の総支部、県本部のご支援に感謝したい。

超過勤務削減に係る闘争の経過を報告する。震災以降の復旧・復興業務や道の駅に係る業務などにより、土日祝日もなしで、月の超過勤務が200時間を超える者も出るなど、異常な状況となっていた。労災認定ラインの月80時間を超える職員が10%を超えており、このままではメンタル疾患や体調不良の症状が出ておかしな状況であった。このようなことから、今年3月に団体交渉を行い、副町長から「超過勤務時間の削減について、しっかりと考えていく」との回答を得た。その後、事務折衝を重ねたが、当局から具体策が示されず、独自闘争も視野に入れ、取り組みを進めた。最終的には、

超過勤務削減に係る闘争の経過を報告する。震災以降の復旧・復興業務や道の駅に係る業務などにより、土日祝日もなしで、月の超過勤務が200時間を超える者も出るなど、異常な状況となっていた。労災認定ラインの月80時間を超える職員が10%を超えており、このままではメンタル疾患や体調不良の症状が出ておかしな状況であった。このようなことから、今年3月に団体交渉を行い、副町長から「超過勤務時間の削減について、しっかりと考えていく」との回答を得た。その後、事務折衝を重ねたが、当局から具体策が示されず、独自闘争も視野に入れ、取り組みを進めた。最終的には、



→上田代議員 (須賀川市職労)

新庁舎開庁に伴う職員駐車場確保に関する取り組みの報告をする。当局は当初、庁舎から遠距離の市有地4か所を職員駐車場として提案してきた。組合では、近距離の駐車場確保を求め、交渉した。その結果、民間駐車場利用者に対する月額2千円を上限とした通勤手当支給と、敷地拡大時の駐車場確保を確約させ、妥結した。この間のご支援に感謝したい。

新庁舎開庁に伴う職員駐車場確保に関する取り組みの報告をする。当局は当初、庁舎から遠距離の市有地4か所を職員駐車場として提案してきた。組合では、近距離の駐車場確保を求め、交渉した。その結果、民間駐車場利用者に対する月額2千円を上限とした通勤手当支給と、敷地拡大時の駐車場確保を確約させ、妥結した。この間のご支援に感謝したい。



10月25日に開催された連合福島第30回定期大会において、満場一致で県本部 今野中央執行委員長 (写真左) が連合福島会長として信任された。今泉前会長 (写真右) とがっちり握手をする今野新会長。

### 県本部今野委員長が連合福島会長へ

参院選予定候補  
**岸 真紀子**

県本部大会において挨拶する次期 (2019年7月) 参議院選挙組織内予定候補

副中央執行委員長  
**邨松 秀紀**

(福島市職労)

中央執行委員長  
**志賀 一幸**

(県職連合)

### 歳時記

「しぐれときどきほどこす」というのが七十二候にある。およそ10月28日から5日間だが、「旅人と我名よはれん初しぐれ」と芭蕉も詠んでいる。ふいに雨が降りかかると、見る間に去っては青空が広がる時雨(しぐれ)は、晩秋から初冬にかけての空模様。ひとところだけ降る片時雨や横なぐりの横時雨、夕時雨、小夜時雨などさまざま。その年の秋の時雨は、野山の生き物にも、人々にも、そろそろ冬支度を始める合図となる。

### 編集後記

今回の機関紙は県本部定期大会の特集となりました。各組からの発言の概要を載せましたが、あくまで「概要」ですので、その全てを載せている訳ではありません。また、各補助機関からの報告もありましたが、スペースの関係で割愛させていただきます。ご了承ください。さて、紅葉シーズンとなりました。会津と福島間(土湯峠)を週に2往復していますが、朝日を浴びた山肌が、日々変わっていく様子を見るのが一つの楽しみとなっています。たまに、小動物が自動車事故にあつたりもしますが、山々に雪の便りが届くのも、もう間近です。あつという間に過ぎる紅葉シーズン、ぜひ楽しみたものです。

不慮の事故・病気による入院なら

# 1日目からまかせなさい。

入院は1日目から保障。日帰り入院でもOKです。

共済

詳しくは所属する組合にお問い合わせください

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会  
自治労共済本部 全日本自治労労働者共済生活協同組合